

漁民の窮状など訴う

葦北郡
津奈六村

水俣病対策村民大会

水俣病におびえる葦北郡津奈六村では六日午前十時から中央公民館に福永代議士、田中県議を迎え村民五百余人が集つて水俣病対策村民大会をひらいた。

まず松原同村助役から去る九月二十三日に同村から水俣病患者一人を出して漁民の生活が日増しに苦しくなつてきている現状を報告、

つづいて質疑に移り、漁民代表から「魚の販売先をストップされてからは一隻も操業していない。零細漁民が多く、余分の貯えもないわれわれはあすの米にもことかき、千二百人の漁民は路頭に迷っている。遠海漁業資金の融資を国や県は考えてほしい」と窮状を訴えた。